

## ネットワークゾーンでのフルフィルメント情報設定

### Note

共同ネットワークに関するオンラインヘルプページへのリンクについては、「[コラボレーションネットワーク](#)」を参照してください。

ネットワークゾーンでフルフィルメント情報を設定するには、テーブルの設定に該当する役職権限が必要です。

ネットワークゾーン内の次のリソース共有テーブルのエントリを管理できます。これらのエントリは、その後、[一元リソース共有設定の配布](#) ]ジョブによってすべてのメンバー機関に配布されます。

- リソースシェア共有パートナー - 「[リソース共有パートナー](#)」を参照してください。
- 作業表テンプレート - 「[作業表テンプレートの設定](#)」を参照してください。
- ワークフロープロファイル - 「[ワークフロープロファイルの設定](#)」を参照してください。
- 作業表割当ルール - [作業表割当ルールの設定](#)
- ロケーションプロファイル - 「[ロケーションプロファイルの設定](#)」を参照してください
- 貸出リクエストルールの送信 - 「[貸出リクエストルールの送信](#)」を参照してください

さらに、[ネットワークフルフィルメントの変更をメンバーに配布](#) ]ジョブを使用して、ネットワークゾーンから以下を管理し、メンバー機関に配布できます。このジョブを設定するには、[フルフィルメントジョブの設定](#)を参照してください。

- アイテムポリシー - 「[アイテムポリシーの設定](#)」を参照してください
- 利用規約 - 「[利用規約の設定](#)」を参照してください
- ディスカバリーインターフェイスディスプレイロジックルール - 「[ディスカバリーインターフェイスディスプレイロジック](#)」を参照してください。配分時の機関ルールの無効化と削除は、**network\_display\_logic\_distribution\_members\_behavior**パラメータによって制御されます。ネットワークゾーンは、機関とネットワークのどちらのルールが優先されるかを決定するために**network\_display\_logic\_rules\_precedence**パラメータを確認することもできます。このパラメータは、ルールが実行されている実行順序（NZ/IZ）を制御しますが、有効なルールと無効なルールは制御しません。パラメータがfalseに設定されている場合、IZルールが最初に計算されますが、NZルールはその後にも実行されます。両方のパラメータの詳細については、「[その他の設定](#)」を参照してください。

### Note

ディスプレイロジックルールが、メンバー機関に存在しないユーザーグループがあるネットワークゾーンから配分される場合、そのユーザーグループはルール内で空欄になります。そのルールは、ユーザーグループのないユーザーにのみ影響します。

- フルフィルメントユニット - 「[フルフィルメントユニットの設定](#)」を参照してください
- 一般電子サービス - 「[一般電子サービスの設定](#)」を参照してください。一般的な電子サービスが配分されている場合は、ローカルリストは、顧客パラメータ、**network\_ges\_distribution\_members\_behavior**における設定に応じて、

配分したレコードのみか、配分したレコードと前のローカル一般電子サービスレコードの両方を表示します。このパラメータは、ネットワークゾーンのレコードが配分されるときにメンバーのレコードで行われる処理を制御します。有効な値は、[削除]、[無効化]、[なし]です。削除を選択すると、すべてのローカルレコードが削除されます。無効化を選択すると、ローカルレコードを保持しますが、それらを無効化します。なしを選択すると、以前のすべてのレコードを残し、配分前の状態になります。

---

#### Note

サービスがすでにメンバー機関にあるサービスと同じ名前でネットワークゾーンから配分される場合、両方のサービスが存在します。元のサービスを非表示にするディスプレイロジックルールが存在する場合、両方のサービスが非表示になります。

---

他のフルフィルメントテーブルもネットワークゾーンで管理できます。「[ネットワークゾーンの設定の一元管理](#)」を参照してください。

共有エン트리には、該当するテーブルに緑色のチェックマークが付いているか、「ネットワーク」スコープがあります。ローカル機関でそのままエントリを使用できます。該当する場合、エントリのローカルコピーを作成し、要件に応じてそれを変更するために、該当するページ上のローカルエントリで行アクションリストから[重複]を選択することができます。

これらのジョブを実行するには、[フルフィルメント]>[アドバンスツール]>[リソース共有ネットワーク設定の配分]および[フルフィルメント]>[アドバンスツール]>[フルフィルメントネットワーク設定の配分]を選択します。確認ダイアログボックスで[確認]を選択します。([ネットワークフルフィルメントの変更をメンバーに配布]ジョブを実行後に、**distribute\_fulfill\_changes\_last\_run** が実行日にセットされます。次回ジョブが実行されるときは、この時間以降に行われた変更のみが配布されます。[フルフィルメントジョブの構成](#)を参照してください。)

所有者機関がネットワーク内の他の機関からオペレータの名前を表示できるようにするには、**[fulfillment\_network\_shared\_operator\_name]**(フルフィルメントネットワークシェアオペレータ名) オプションを有効にします ([フルフィルメントジョブの設定](#)を参照してください)。デフォルトでは、このオプションはオフになっています。